

第12回兵庫県医療審議会 地域医療対策部会 議事概要

- 1 開催日時 平成23年6月14日(火) 13:30~15:00
- 2 開催場所 兵庫県医師会館6階会議室(神戸市中央区磯上通6-1-11)
- 3 出席委員 大森委員、岩見兵庫県町村会次長(岡本委員代理)、守殿部会長、杉村委員、竹内委員、千原委員、豊田委員、登里委員、波田委員、渡辺委員(以上10名出席)
- 4 議事概要(地域医療再生計画について)

(委員)

当計画のテーマを救急に絞った理由は何か。

(事務局)

兵庫県の喫緊の課題は、3次救急医療の問題であり、それらを一体的に構築するシステムが必要であることから、テーマを救急医療に絞った。

(委員)

地域医療活性化センターの運営については、医師会等とも連携するのか。

(事務局)

このシステムは人材供給ということが大きなテーマであって、そのために医師会等との連携は当然必要である。

(委員)

医療人材養成の対象は、研修医だけではなく、一般医師も対象か。

(事務局)

対象とする。

(委員)

非常にいいコンセプトだと思うので、積極的に進めていただきたい。

(委員)

計画の中に、他の地域の救急体制や大学の災害救急の関係、県災害医療センター等の記載があってもいいかと思うがどうか。

(事務局)

今回の計画はある程度焦点を絞って記載している。委員からのご指摘の他の圏域や全体的な救急のシステムについては、この再生計画ではなく、保健医療計画に記載していきたい。

(委員)

医師会等と連携した在宅医療推進協議会の設置の記載がある。急性期医療には、在宅医療、慢性期医療の下支えが必要であり、前向きに取り組んでほしい。

(委員)

県立こども病院と新神戸中央市民病院の一体的運用による全県拠点整備について、相互交流により共同で医師を養成するということはいいが、ここに高度医療、優秀な医療人材が集中するということになる。そうすると、県下で人材が手薄になるのではないか。ここで養成された医師をどのように活用するのか。

(事務局)

地域医療活性化センターもそうだが、こども病院はもともと地域に医師を派遣するといった機能をもっていた。地域医療活性化センター等と議論しながら、人材は広く派遣してもらいたい。

(委員)

津波、地震等の災害で、低地で大きな被害が出ているが、こうしたことがもし起こった場合に、後方支援するための病院について考えがあるのか。こども病院といった特殊の病気を扱う機関は、もっと安全な地域にもっていこうという考えはなかったのか。

(事務局)

こども病院のポートアイランドへの移転については、そのような検討や議会での決定も必要である。この再生計画が承認されたとしても、それで即この事業を進めることを決定するというわけではなく、進めるためには、越えるべきハードルがあると考えており、議論を重ねる必要がある。

(委員)

具体的に、この事業はいいがこれはだめだといふように厚生労働省が内示することはあるのか。

(事務局)

査定もあるようだが、まだどうなるか明確でない。

(委員)

全圏域に医療連携体制があるが、各医療圏の中核病院を含めて、特に救急だけではなくて、今回のような災害医療も含めた形で、平時の医療連携をつくっておくことは災害のときにも役立つ。機能的な連携のネットワークを考えてほしい。

(事務局)

ネットワークの構築には、関係者の皆さんの同意が必要であり、たいへん難しいことですが、みなさまに是非ご協力いただきたい。

(委員長)

それでは、この地域医療再生計画の原案を承認してよろしいか。

(委員一同)

異議なし